

X線透視装置 FLEX-MH867CT

〈特徴〉

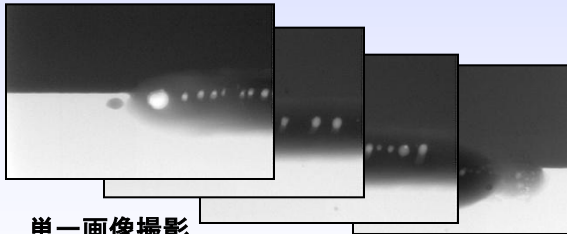
- ・ 強力X線で鋼板15mm厚までの溶接検査（透視・3D立体CT）に最適です。
電動XYステージ、電動ズーム機能、電動基板チルト機能内蔵
- ・ 世界最小クラスの装置の小型化で、現場の設置が容易で、身近に使えます。
外形：約W800・D600・H650 質量：約250kg
- ・ パソコンベースのデータ処理で、大容量のデータも簡単処理。

☆ 130kVX線で15mm鋼板検査

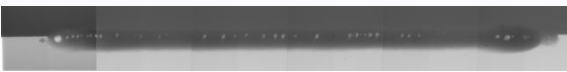
☆ 3D立体CT機能搭載

☆ 省エネで地球に貢献 250W

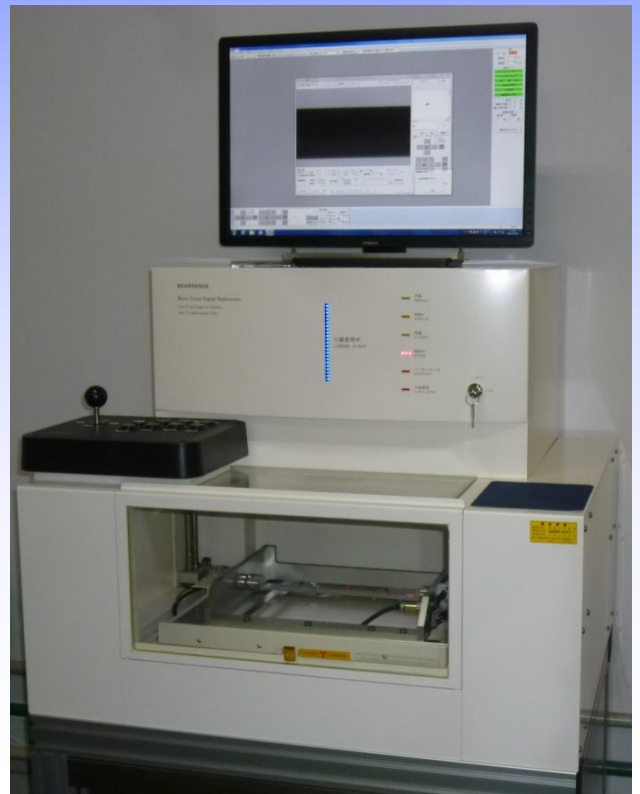
☆ 現場に設置で身近に使える



単一画像撮影



連結(タイリング)画像撮影



設備仕様

項目	仕様
設備寸法	約W800×D600×H650 (mm)
質量	約250(kg)
対象サンプル寸法	～ L330×W250 (mm)
X線源	密封管式マイクロフォーカスX線源 130kV 焦点径 最小5μm
撮像部	150万画素平面撮像CCDセンサ 画素寸法20x20μm

X線透視で溶接品質管理を強力サポート

パソコンベースの簡単操作で作業の生産性向上を実現

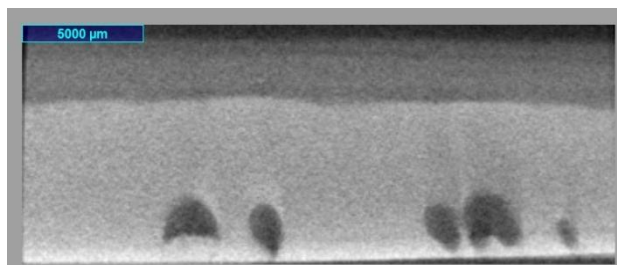
●自動位置教示システムや電動ズーム機能に、さらに電動チルト機能を内蔵して、作業工程や実験機で、見たい方向からのX線透視が、簡単に出来、検査作業を容易にします。パソコンベースにより、画像の保存・転送・編集も簡単です。データを活用してのトレーサビリティや、検査の自動判定への対応も可能です。消費電力も200Wとパソコン並です。

150万画素の画像と3DCT画像で溶接状態をクリアに表示

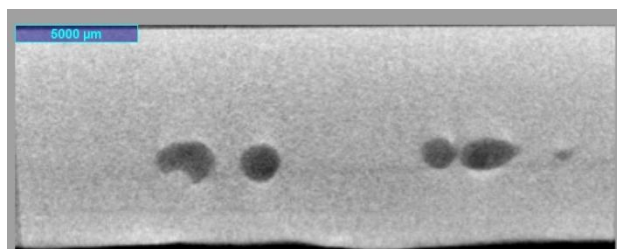
●画素20 μm で1500（横）×1000（縦）の150万画素平面撮像CCDセンサと130kVX線管の採用により、15mm厚の鋼板のポイド画像を撮影できます。更にオプションの3DCT画像で、溶接状態を立体的に表示し、溶接部内部の断面状況を詳しく観察することが出来ます。

X線3D立体CT撮影画像例（亜鉛めっき鋼板の溶接ポイドの例）

通常CT断面画像の例

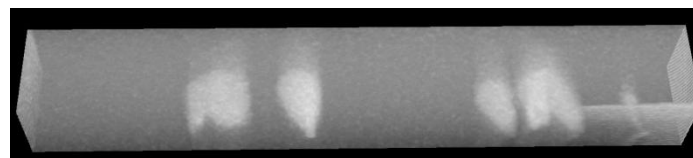


XZ断面



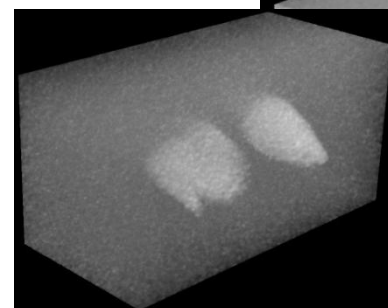
YZ断面

3D立体CT画像の例



上方向より観察

左上方向より観察



一部切り出し
拡大

3DCT画像は、国立大学法人京都工芸繊維大学との共同開発によるものです。

安全に関するご注意

●ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

カタログの記載商品を安全に使用して頂くために、取扱いについては稼動時、停止時に拘わらず、設備付属の取扱説明書および設備の警告表示を十分確認した上で正しい作業を実施されますようお願い致します。本装置は、平成13年3月30日基発第253号第3-3第3条関係の(6)のAに記載される遮蔽ボックス付X線透視装置です。設置1ヶ月前までに、管轄の労働基準監督署に、設置の届出を行う必要があります。

●お問い合わせは・・・

株式会社 ビームセンス

TEL:06-6384-9563

URL <http://beamsense.com>

開発・製造 株式会社 ビームセンス
564-0041 大阪府吹田市市泉町2-19-16